



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8007 URL <https://www.tak.co.jp>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高島 幸一  
問合せ先責任者 （役職名）経理ユニットマネージャー （氏名）境 功騎 TEL 03-5217-7297  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	68,738	△3.4	1,627	△0.8	1,785	15.1	1,149	18.6
2025年3月期第3四半期	71,138	7.1	1,640	△0.7	1,551	△15.5	970	△20.1

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 777百万円（△52.4％） 2025年3月期第3四半期 1,633百万円（△12.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	33.67	—
2025年3月期第3四半期	28.28	—

（注）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	65,197	23,187	35.6	678.39
2025年3月期	60,044	23,924	39.8	701.07

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 23,187百万円 2025年3月期 23,924百万円

（注）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	46.00	86.00
2026年3月期	—	45.00	—		
2026年3月期（予想）				22.50	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期及び2026年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。2026年3月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しており、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金額は45円となります。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	92,000	△2.6	2,200	3.3	2,300	13.6	1,600	2.1	46.84

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

（注2）連結業績予想の修正については、本日（2026年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注3）年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみを開示しております。

（注4）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	34,377,984株	2025年3月期	34,525,784株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	198,250株	2025年3月期	400,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	34,157,987株	2025年3月期3Q	34,294,858株

（注）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
(4) 株主還元 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

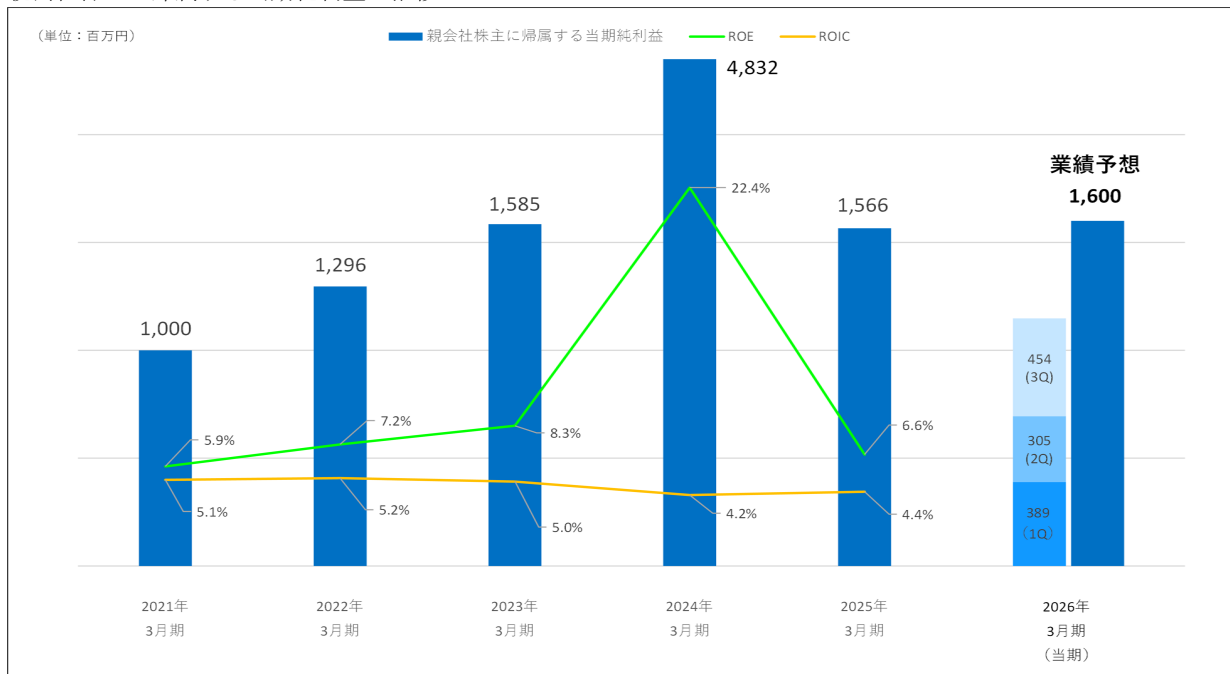
当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は68,738百万円（前年同四半期3.4%減）、営業利益は1,627百万円（同0.8%減）となりました。各セグメントの経営成績については後述のとおりであります。経常利益につきましては、前第3四半期連結累計期間では在外子会社における現地通貨安の影響等により為替差損が発生していたものが、当第3四半期連結累計期間においては為替差益に転じたことなどによって、1,785百万円（同15.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,149百万円（同18.6%増）となりました。EBITDAは3,001百万円（同6.6%増）となりました。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	71,138	68,738	△2,400	△3.4%
営業利益	1,640	1,627	△12	△0.8%
経常利益	1,551	1,785	233	15.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	970	1,149	179	18.6%
EBITDA	2,816	3,001	184	6.6%

※EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

## 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、各セグメントにおける利益の状況及び各部門が直接的に担う利益水準をより明確にするため、全社費用の配賦基準を変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配賦基準に基づき作成したものを記載しております。

<セグメント売上高>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
建材	46,815	65.8%	44,635	64.9%	△2,180	△4.7%
産業資材	13,175	18.5%	13,420	19.5%	244	1.9%
電子・デバイス	11,169	15.7%	10,723	15.6%	△446	△4.0%
合計	71,160	100.0%	68,778	100.0%	△2,381	△3.3%
調整額	△22	—	△40	—	△18	—
連結財務諸表計上額	71,138	—	68,738	—	△2,400	△3.4%

(注) 調整額はセグメント間取引高の消去であります。

<セグメント利益>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	営業利益	構成比	営業利益	構成比		
建材	1,447	53.5%	1,346	51.2%	△101	△7.0%
産業資材	653	24.1%	853	32.4%	200	30.6%
電子・デバイス	605	22.4%	432	16.4%	△173	△28.6%
合計	2,706	100.0%	2,632	100.0%	△74	△2.7%
調整額	△1,066	—	△1,005	—	61	—
連結財務諸表計上額	1,640	—	1,627	—	△12	△0.8%

(注) 調整額はセグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社経費であります。

#### ①建材セグメント

建材セグメント全体の売上高は44,635百万円（同4.7%減）、セグメント利益は1,346百万円（同7.0%減）となりました。

住宅分野は、新商材の拡販が奏功し、増収となりました。再生可能エネルギー資材分野は、住宅向け蓄電池販売が好調に推移したことに加え、2025年2月に連結子会社となった株式会社サンワホールディングスの業績が寄与し、増収となりました。非住宅分野は、基礎関連工事等が低調に推移したことにより、減収となりました。セグメント利益については、セグメント売上の減少に加え、業績拡大に向けた営業活動費用が増加したことにより、減益となりました。なお、2026年1月1日付で、株式会社サンワホールディングス、株式会社サンワシステム及びサンワグループ傘下他6社は株式会社サンワシステムを存続会社とする吸収合併をいたしました。

#### ②産業資材セグメント

産業資材セグメント全体の売上高は13,420百万円（同1.9%増）、セグメント利益は853百万円（同30.6%増）となりました。

樹脂関連資材分野は、自動車関連や電子機器・精密機器関連の部材・物流資材の受注拡大に加え、アミューズメント関連でリサイクル樹脂製品の販売も拡大し、増収となりました。繊維関連資材分野は、産業用機能性繊維において資材・製品販売が拡大した一方で、アパレル事業において「選択と集中」を進め、一部の事業を縮小したことにより減収となりました。セグメント利益については、セグメント売上の増加に加え、連結子会社の生産機能活用による工場稼働率の向上が大きく寄与し、増益となりました。

## ③電子・デバイスセグメント

電子・デバイスセグメント全体の売上高は10,723百万円（同4.0%減）、セグメント利益は432百万円（同28.6%減）となりました。

日本国内の民生電子機器市場、白物家電市場は中国企業がシェアを急速に拡大し、当社の顧客層である大手日系電機メーカーは総じて苦戦を強いられている状況となっております。デバイス分野は主要顧客にて電子部品の供給不足の反動で積み上がっていた部品在庫が解消に向かいつつありますが、マーケットは総じて低調であり前期並みでの推移となりました。アセンブリ分野は、デジタルカメラ関連が低迷したことに加え、白物家電向け基板実装が日本国内製品向け、アセアン製品向け共に低調に推移し、減収となりました。

売上高、営業利益のセグメント別構成比は次のとおりです。

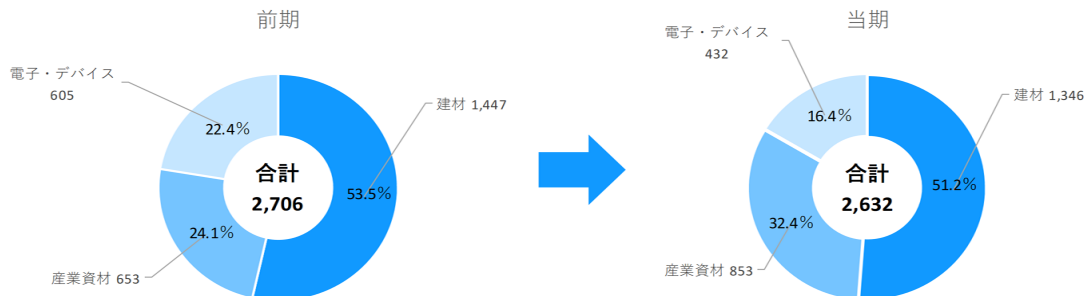
<売上高>

(単位：百万円)



<営業利益>

(単位：百万円)



## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産は47,399百万円（前連結会計年度末比14.6%増）となりました。主な要因は、未収還付法人税が1,104百万円減少し、一方で、現金及び預金が2,425百万円、商品及び製品が1,824百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,643百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は17,797百万円（同4.8%減）となりました。主な要因は、のれんが529百万円、投資有価証券が183百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

流動負債は31,198百万円（同12.2%増）となりました。主な要因は、電子記録債務が1,211百万円減少し、一方で、契約負債が1,120百万円、支払手形及び買掛金が900百万円、短期借入金が2,620百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は10,811百万円（同30.1%増）となりました。主な要因は、長期借入金が2,910百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は23,187百万円（同3.1%減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,149百万円増加し、一方で、為替換算調整勘定が235百万円、配当金の支払により利益剰余金が1,553百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

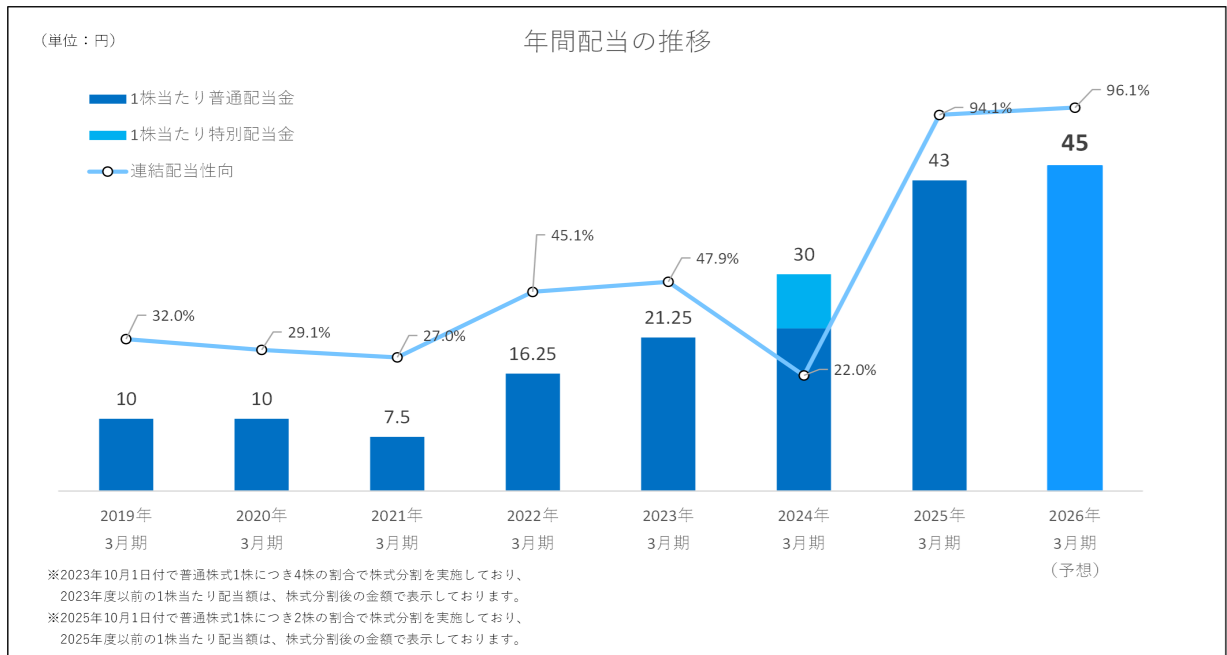
2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## (4) 株主還元

当社は「戦略的投資を伴う持続的成長企業」を目指し、成長投資を拡大させる一方で、資本効率性を意識し、株主還元を実施することを基本方針としております。

具体的には、中期経営計画「サステナV（バリュー）」において、連結配当性向40%以上の配当を每期行い、総還元性向50%を目標に機動的な自己株式の取得・売却を実施することとしておりましたが、ROE8%以上の達成に向けて資本効率性のさらなる向上が必要であるという認識のもと、「サステナV（バリュー）」の最終年度までの2年間（2025年3月期及び2026年3月期）の限定措置として、連結配当性向80%以上、総還元性向100%と変更いたしました。また、株主の皆様への安定的な還元を念頭に、総還元額の下限を5億円としております。

当期におきましては、1株当たり45円の配当（うち中間配当22.5円、期末配当22.5円）を予定しており、業績予想に基づく連結配当性向は96.1%となります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,080	11,506
受取手形、売掛金及び契約資産	22,192	23,836
商品及び製品	5,289	7,114
仕掛品	135	330
原材料及び貯蔵品	1,330	1,575
未成工事支出金	112	151
未収還付法人税等	1,109	4
その他	2,107	2,888
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	41,351	47,399
固定資産		
有形固定資産	6,446	6,359
無形固定資産		
のれん	5,874	5,344
その他	950	838
無形固定資産合計	6,825	6,182
投資その他の資産		
投資有価証券	2,567	2,383
退職給付に係る資産	372	383
その他	2,588	2,597
貸倒引当金	△106	△108
投資その他の資産合計	5,421	5,255
固定資産合計	18,693	17,797
資産合計	60,044	65,197



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,454	14,354
電子記録債務	4,213	3,001
契約負債	1,107	2,227
短期借入金	6,206	8,826
未払法人税等	349	397
賞与引当金	721	455
役員賞与引当金	38	38
その他	1,719	1,896
流動負債合計	27,808	31,198
固定負債		
社債	500	390
長期借入金	5,162	8,073
退職給付に係る負債	74	78
その他	2,574	2,269
固定負債合計	8,311	10,811
負債合計	36,120	42,009
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	950	954
利益剰余金	17,044	16,545
自己株式	△255	△126
株主資本合計	21,540	21,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	671	527
土地再評価差額金	32	32
為替換算調整勘定	1,687	1,452
退職給付に係る調整累計額	△7	△0
その他の包括利益累計額合計	2,383	2,011
純資産合計	23,924	23,187
負債純資産合計	60,044	65,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	71,138	68,738
売上原価	61,399	58,208
売上総利益	9,739	10,529
販売費及び一般管理費	8,099	8,902
営業利益	1,640	1,627
営業外収益		
受取利息	48	64
受取配当金	93	89
持分法による投資利益	5	7
為替差益	—	25
その他	62	160
営業外収益合計	210	347
営業外費用		
支払利息	69	144
為替差損	194	—
その他	35	46
営業外費用合計	299	190
経常利益	1,551	1,785
特別利益		
固定資産売却益	25	12
関係会社株式売却益	14	—
特別利益合計	39	12
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	—	5
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	1,590	1,787
法人税、住民税及び事業税	404	617
法人税等調整額	216	19
法人税等合計	620	637
四半期純利益	970	1,149
親会社株主に帰属する四半期純利益	970	1,149

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	970	1,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406	△144
土地再評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	297	△235
退職給付に係る調整額	△40	7
その他の包括利益合計	663	△372
四半期包括利益	1,633	777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,633	777

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の「その他」に含めていた「契約負債」は、金額的重要性が増したため、第3四半期連結会計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の「その他」に表示していた1,107百万円は「契約負債」として組み替えております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月2日付で、自己株式73,900株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金及び自己株式が94百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が126百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	719百万円	844百万円
のれんの償却額	457	529

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・ デバイス			
売上高						
外部顧客への売上高	46,804	13,174	11,159	71,138	—	71,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	10	22	△22	—
計	46,815	13,175	11,169	71,160	△22	71,138
セグメント利益	1,447	653	605	2,706	△1,066	1,640

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・ デバイス			
売上高						
外部顧客への売上高	44,615	13,403	10,718	68,738	—	68,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	16	4	40	△40	—
計	44,635	13,420	10,723	68,778	△40	68,738
セグメント利益	1,346	853	432	2,632	△1,005	1,627

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、高島株式会社の組織再編に伴い、全社費用の範囲を見直しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の基準に基づき作成したものを記載しております。